

大会規則

- 1 本大会は、2023年度公認野球規則並びに競技者必携に定める事項、及び以下本大会のために特別に定めた事項を適用して実施する。
- 2 試合は6回戦とし、イニングに関わらず試合開始から90分を超えて新しいイニングに入らない。
- 3 4回終了後得点差が10点以上、5回終了後得点差が7点以上及び日没・降雨など試合継続が不可能と判断した場合は、コールドゲームを適用する。
- 4 規定回終了後に同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。ただし、優勝戦は勝敗が決するまでタイブレイク方式で延長戦を行うこととする。
- 5 野球規則によるアピール権者は、監督のみとする。
- 6 ベンチは、抽選番号の若番が一塁側とする。ただし、優勝戦は準決勝戦第2試合の勝者が引き続き同じベンチを使用することとする。
- 7 ベンチに入れる人員は、次のとおりとする。
 - ① 予め登録された選手25名以内、監督1名、コーチ2名とする。
 - ② ①のほか、チーム責任者、マネージャー、スコアラーは各1名、熱中症対策として保護者2名までベンチに入ることができる。
- 8 選手、監督、コーチは同一のユニフォームを着用すること。背番号は、監督30番、コーチ29番・28番、選手0番から99番とし、主将は10番とする。ただし、合同チームのユニフォームは不揃いでもよいが、背番号は重複しないこと。
- 9 試合前のシートノック時間は5分間とする。ただし、天候や試合時間によってはシートノックを中止することがある。
- 10 球場内の打撃練習は禁止とする。
- 11 投手の投球回数は、1日70球を限度とする。ただし、4年生以下は1日60球とする。
- 12 捕手は、必ず公認マスク（SGマーク付き）、レガース、プロテクター、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。
- 13 投手の投球練習中、捕手（控えの捕手を含む。）は、すべての防具を着用すること。
- 14 打者、次打者、走者、ベースコーチは、必ず公認の両耳付ヘルメットを使用すること。
- 15 各回の先頭打者は、投手の準備投球が完了するまで、次打者席で待機すること。投手交代の際も同様とする。
- 16 金属バットは、公認されたものに限り使用することを認める。
- 17 金属製金具のついたスパイクの使用を禁止する。
- 18 素振りリングの使用を禁止する。
- 19 大会中に発生した事故は、参加者の責任において処理すること。応急手当のみ主催者が行う。
- 20 各会場の球場特別規則は、各球場責任者、試合当日大会役員と大会審判員が協議して定める。

運 営 規 定

- 1 競技運営に関する事項は、2023 年度競技者必携に定めるもの及び以下の事項を適用して実施する。
- 2 その日の第一試合のチームは、外野に限り練習を行って良い。ただし、試合前練習と同様にユニフォーム未着用でグラウンドに入らない。なお、選手及び監督、コーチ以外は、グラウンドに入らない。
- 3 試合開始予定時刻の 60 分前までに会場に到着し、大会本部に到着の旨を報告すること。なお、試合開始予定時刻になっても到着していないチームは、原則棄権とみなす。
- 4 打順表の提出は、全試合、試合開始予定時刻の 40 分前までに、監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合した後、球審立会いのもと攻守を決定する。
- 5 試合中の次試合チームのブルペン投球練習については、球場責任者の許可を得ること。
- 6 両チームの態勢が整っている場合は、試合開始予定時刻より早く試合を開始することがある。
- 7 試合時間短縮のため、次の事項を厳守すること。
 - ① 攻守交替は、全力疾走で行うこと。
 - ② 打者は速やかに打席に入ること。打席に入る際、球審への脱帽はさせないこと。
 - ③ 投球を受けた捕手は速やかに返球すること。
 - ④ 試合終了後の相手チームや本部に対するグラウンド内での整列、礼は行わないこと。
 - ⑤ 試合終了後は速やかに清掃、消毒を行ったうえでベンチを空けること。
- 8 守備が終わり、最後のボール保持者は、必ず投手板にボールを置いて（転がさないこと。）ベンチに戻ることに。
- 9 ファウルボールの処理については、次のとおりとする。
 - ① 一塁側に止まったものは、一塁側のチームが処理する。
 - ② 三塁側に止まったものは、三塁側のチームが処理する。
 - ③ 捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームが処理する。
- 10 ベンチ内のメガホンは、監督に限り使用を認める。
- 11 ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用は禁止するが、電子スコア記録用として 1 台の使用を認める。
- 12 グラウンド内（ベンチを含む）では、喫煙及びガムなどを噛むことを禁止する。
- 13 試合に携わっている選手以外はベンチから出ないこと。ただし、選手同士が行うブルペン等での投球練習、キャッチボールは認める。
- 14 球場内外での多人数の素振りを禁止する。特にベンチ前での素振りは少数でも禁止する。
- 15 グラウンド整備は、原則として、前試合の両チームの選手でシートノック終了後に行うこと。
- 16 守備の時間が長い場合には、健康維持を考慮し審判員の判断で給水タイムを設けることがある。（ロスタイムとして処理）
- 17 次の注意事項は、チーム関係者、保護者に周知徹底させること。
 - ① 応援団席は、ベンチより外野側とする。
 - ② 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次や暴言は厳禁とする。
 - ③ スタンドからの応援の野次暴言及び目に余る行為はチームの責任とする。
 - ④ 万一、救急車を要請する事態が発生した場合は、試合会場本部に連絡すること。